



東福寺神社の神紋

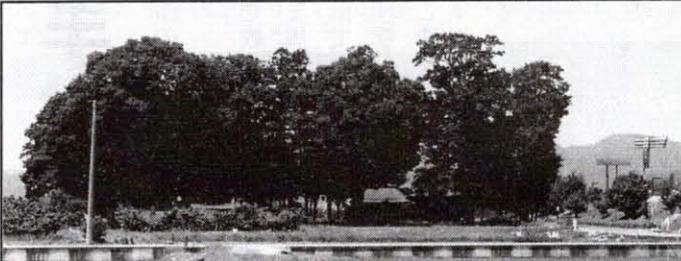
# 東福寺神社だより

## 第4号

東福寺神社修繕計画<臨時号>  
発行 東福寺神社修繕委員会

<問い合わせ先>

- 上組区の総代    ■中組区の総代
- 東区の総代      ■上庭区の総代



百年越えの大樹が生え、南長野運動公園の南側に鎮座する東福寺神社

風雪に耐えた東福寺神社に、  
 際立った傷み。  
 先を見越して、  
 今、修繕工事で乗り越えたい。

〔板部修繕と屋根塗装〕



四つの祭神が祀られ  
 そして、美しい社叢を見せる  
 東福寺神社を、みんなで守ろう

### 修繕工事概要紹介

〔特集〕この部分の傷みがひどい

# ほぼ40年間手付かず状態

東福寺神社の本殿・拜殿・社務所の板部分（軒天・則板・土台）の腐蝕と劣化がひどくなってきた。

特に拜殿は、軒天裏の腐蝕破損で数カ所穴があき、鳥やコウモリが侵入し、拜殿内部はおびただしい草ゴミ糞で汚れ放題。社務所の方も、木部軒天の腐蝕がすすみ、鳥の侵入が頻繁で、汚れが目立つ状態。

本殿・拜殿・社務所・倉庫の屋根塗装も、40年前に、カラー鋼板で葺き替えて以来、手付かずの状態でこまできています。

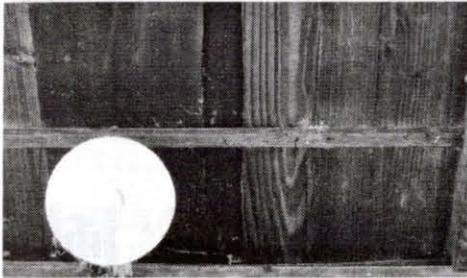
## 木部修繕について

神社のどこが修繕工事待ったなしの状態か、木部修繕と屋根塗装の二面に分けて説明すると。

### 拜殿の破損状況

拜殿軒裏の板が

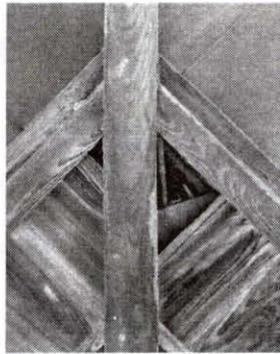
壊れたり、腐蝕して、そこから鳥やコウモリが侵入し、拜殿内部の床は、草ゴミや糞で汚れがひどい。内部に掲げてある絵馬・額や内陣幕なども被害をこうむっている。



▲拜殿正面軒天の穴あき



▲拜殿軒裏の板が腐蝕（6カ所あり）



▲鳥の巣にとって代わられている

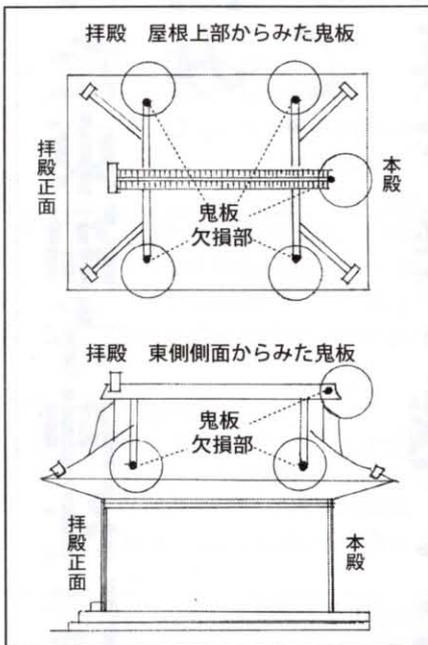
鬼板、落雪で破壊される  
拜殿屋根の10基中  
5基欠損

左記の図は、拜殿屋根の上部からと、横から見た、鬼板が配置されている箇所図である。

拜殿の本ぐしの鬼板（北側本殿前）が欠損脱落している。

本来鬼板は、建造物のぐしや屋根のひさし等に載せられ、火除けや家難逃れを願い☉と明記したり、鬼瓦を載せて鬼門厄除けをしたものだろう。図のとおり、10基なければいけないところ5基しかないのは不自然な姿であろう。

社務所の鬼板も4基中、1基が取れて、ズレ状態で機能を失っている。



鬼板欠損の全部が、冬季間の雪によってもぎとられてしまった

社務所の木部（軒裏天井）の腐蝕劣化

この社務所は、東区にあった鹿島神社の社殿を、今もって使わせていただいていると口碑されている。

いずれにしても、経年で建物の消耗劣化が目立つ。

土台の劣化もひどい

が、木部軒天の腐蝕がきわだち、穴あき、スキ間ができ、鳥の営巣になっ



▲社務所も修繕を待っている



△軒天は変色し、穴あき状態があちこちに見られる

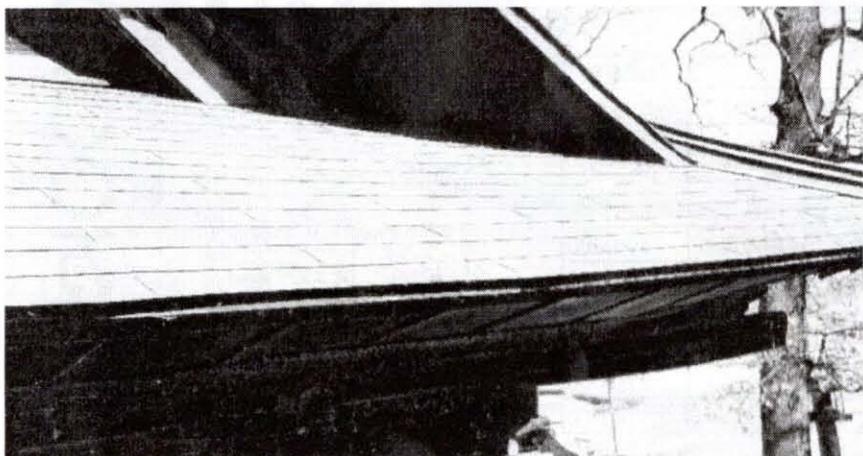


▲土台も経年劣化がひどい

屋根塗装工事について

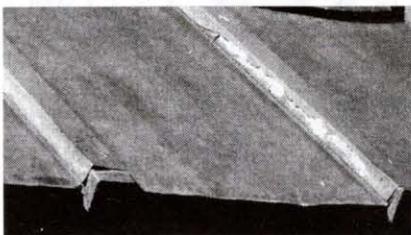
本殿・拝殿・社務所・倉庫 屋根の塗装必須！

さかのぼること40年ほど前のことになるが、東福寺神社の修復工事を請け負った栗田尚武さん（栗田建設社長）から次のようなことを聞いた。

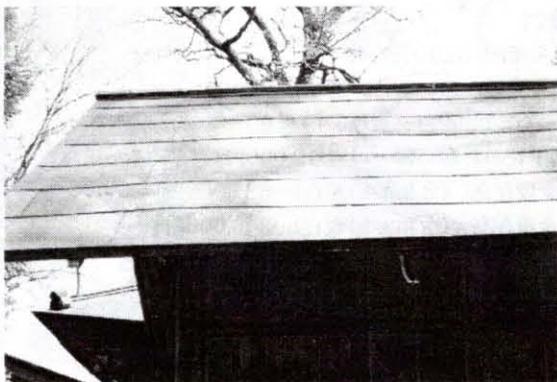


▲拝殿の屋根 表面の塗装が劣化し赤サビがでつつある

▼社務所の屋根 塗装が劣化しサビがでている



▶倉庫の屋根鋼板の劣化が著しい

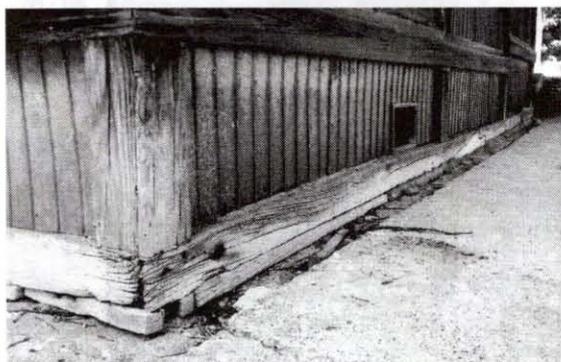


「神社拝殿のカラー鋼板による葺き替えや、鳥居の銅板包み等をして建物の維持存続に重要な部位である屋根の劣化を一時的に食い止めることができた。以降は微細な小修繕で

今日に至っています」と聞くにおよび、カラー鋼板の耐久性だって限度がある。サビが入りこんだら、塗装効果も寿命も半減してしまうだろうに。時は今だ、このタイミングを逃すまい。

◆拝殿と社務所の土台

写真のように、拝殿の土台も社務所の土台も相当傷んできているが、過去に洪水浸水にあつていないせいも、もう少し持ちこたえそう。キシラモントラットという防腐剤の透過塗布で、少しでも長く不朽させたいと願う。応急処置でもたせる。



▲拝殿 正面東側の土台

# 修繕総工事費三〇〇万円

(見積算出額)

## 三〇〇万円の資金づくりプラン

多額な費用捻出を強いられる事業であるが、神社の消耗維持を考えると、この時期に手を打たないと、禍根を残すことになりかねない。

まず一步は、神社総代十二名で修繕委員会を設立して、行動をおこすことに。(注一) 工事概要と見積額・参照

三〇〇万円資金づくりの方策は、次の四つの柱を縁とした!

●一つ目の主力財源としたのは、何と言っても、神社を支えていただいている三百戸の氏子の皆さんの浄財支援におすがりしなければならぬ。通常の氏子費とは別途に、臨時氏子費として各戸へのお願いを算出している。

(注二) 臨時氏子費の検討・参照

●二つ目は、毎年氏子費から、一戸当たり300円の修繕準備金(建物修繕・伐採)を貯蓄して来たものを当てる。現在まで残高三十四万五千円ほど。

### (注1) 東福寺神社拝殿他修繕工事の概要

(令和3年6月17日附修繕工事見積書 栗田建設㈱より)

工事内容	見積金額
拝殿軒裏の板の破損修理 仮設工事、木工事等	896,000
屋根の塗装の劣化防止工事 仮設、塗装改修 本殿：祝詞・拝殿・回廊 社務所：物置、屋根の塗装3回	1,227,000
板金修繕工事 拝殿・社務所など：尾根の鬼板	404,000
土台腐食防止工事	31,000
社務所軒裏破損部分修理	142,000
小計	2,700,000
消費税	270,000
合計	2,970,000

### (注2) 臨時氏子費の検討

修繕工事費…(・見積額2,970,000円)

当初案 臨時氏子費のお願い額…戸当り10,000円  
(氏子299戸 令和3.4.1現在)

決定案 臨時氏子費のお願い額…戸当り9,000円

- 参考) ・一般会計繰越金現在高 (令和3.4.1現在)…621,000円  
・特別会計繰越金現在高 (令和3.4.1現在)…345,000円  
・祭事の後の直会をすべて取り止める…108,000円減額見込  
・神社の整備(修繕)状況の変遷

### ◎今後の進め方

7月	臨時氏子費ご協力をお願い文及び神社だより臨時号の配布
8月	・神社現地にて説明会。8月13日(上組・中組)、14日(東・上庭) いずれも午前10時開催、都合のつく日時に参加可能 ・臨時氏子費のお願いと、各戸より「臨時氏子費協力申込書」をいただく
9月初旬	各区氏子総代が臨時氏子費協力申込書に基づき集金に伺う
9月下旬	修繕工事発注(工期2ヵ月の予定) 契約時の支払い
11月	工事完了予定
12月	通常氏子費1,800円及び御神札代の集金。臨時氏子費が複数回の場合は翌年又は翌々年の通常氏子費といっしょに
12月	臨時氏子費の集金状況の最終確定
12月	工事金額支払見込

●三つ目の資金づくりは、年間の祭礼経費の縮小削減から生み出すもので、祭礼行事のあと行ってきた直会(まじらい)で、一切取り止め。運営に携わる総代たちも「神社ファースト」で直会経費を修繕資金に回すようにする。(直会経費削減で一〇万円ほどが捻出できる)

●四つ目は、東福寺神社を崇敬する皆さまにもお願いする。氏子以外、他地域の企業・一般人に向け、神社を信奉していただける方々に、賛助金・寄付金などをお願いして歩く。多額な修繕費を必要とする工事で一筋縄ではいかないかもしいないが、今、ここで神社に手を入れないと近い将来、神社建造物消滅の憂き目も必至である。修繕委員会メンバーも動きまますので、氏子の皆さまのご理

▶ 神社の歴史と由緒が少しづつ分かってきた『東福寺神社だより』が3号まで発行された



解とご協力のほどを伏して宜しくお願ひします。